



ついこの間まで半袖で過ごしていたことが信じられないほど、急に秋の気配が深まってきましたね。  
 先日は運動会を見に来ていただきありがとうございました。11月は『作品展』を開催いたします。秋の自然に親しみながら戸外でのびのびと遊んだり、室内でじっくり制作や絵画に取り組んだりして、活動の幅も広がってくるこの時期の園生活の充実ぶりの一端をぜひご覧下さい。

## 11月のキッズクラブのご案内

### 要予約 『作品展を見よう』 & 『園庭&キッズクラブの部屋開放日』

◆ 妙高こども園の作品展で展示した園児がのびのびと描いた絵や楽しい制作物をご覧ください。

- ・ 日時…11月11日(火) 午前10時30分～午前11時30分
- ・ 場所…妙高こども園遊戯室

※園庭&キッズクラブの部屋の開放も行います。

※11月7日(金)までにお申し込み下さい。

### 要予約 『人形劇を観劇しよう』

◆ 人形劇団結び座の『どんどこもんちゃん』『カミナリカレー』の2本をご覧ください。ぜひ、親子で生の人形劇をお楽しみ下さい。

- ・ 開催日…11月13日(木)
- ・ 開始…午前10時30分(10時20分までに入場して下さい。)
- ・ 開催場所…遊戯室

※先着10組までお受けいたします。11月10日(月)までにお申し込み下さい。

※お子さんおひとりに保護者おひとりでお願いします

※在園児と一緒に観劇していただきます。

### 要予約 『親子で楽しむぴよちゃんタイム』に参加しよう②

◆ 外部講師を招き、親子でいろいろな遊びを楽しみながら・・・

- ① 興味の芽生えを育みます ② 見えない学ぶ力を育てます ③ 自己肯定感と自立心を育てます
- ・ 開催日時…11月20日(木) 午前10時30分～11時30分

※参加をご希望の方は11月17日(月)までにお申し込み下さい。

### 要予約 『11月生まれのお友だちのお誕生日会』に参加しよう & 『園庭&キッズクラブの部屋開放日』

◆ 園のお友だちと一緒に遊戯室でお祝いしましょう。  
 ◆ プレゼントはアンパンマンの手作りフォトカード・記念写真・キラキラの冠です。


- ・ 開催日時…11月27日(木) 午前10時15分～11時30分
- ・ 対象…キッズクラブに登録されている11月生まれのお子さん。

※園庭&キッズクラブのお部屋開放も行います。(園庭&キッズクラブのお部屋開放のみの参加もOKです)

※参加をご希望の方は11月25日(火)までにお申し込み下さい。

参加予約は  
 妙高こども園(電話)  
**65-3210**  
 または  
 妙高こども園キッズクラブ  
 LINE公式アカウント  
 でお申し込み下さい!!!

下記のQRコードで登録を  
 お願いします



@627veuav

8月に引き続き  
2回目です



## 子育てワンポイント★生活習慣の『困り事』どうする?★

### 0歳児

0歳児は関わってくれる大人が自分の気持ちを無視して強引に進めるか自分の気持ちを大事にしてくれる人かを見極める力を持っています。例えば、おむつを替える前や食事の前などに、いつも「おむつを替えてもいい?」「そろそろミルクにしようか?」と目を見て声をかけてもらっていると、自然と『この人はどんな時も自分の気持ちを聞いてくれる』『気持ちを無視して何かされることはない』という感覚が育ちます。この安心感が持っていると生活習慣が身につく土台ができていきます。

#### <オムツ替えOK対応>

0歳児の遊びは集中していても15分程度です。遊びの区切りを見計らって「〇〇ちゃん楽しかったね、そろそろオムツを替えようか」と共感の気持ちを添えて声をかけましょう。

#### <オムツ替えNG対応>

後ろから突然抱き上げたり、急にオムツ替えをしたりすると『いつも突然何かをされる』と言った警戒心で不安になり、激しく泣くことがあります。

### 1歳児

1歳児は生活のあらゆる場面で「これは嫌だ」「こうしたい」といったこだわりや意思表示がはっきりしてきます。「～だからしたくない」など、理由やこだわりの訳を持っています。そのような気持ちを大人に受け止めてもらえると安心するので、こちらの言葉にも耳を傾けるようになります。そして少しずつ状況を理解できるようになってきます。待ってくれる大人からは『待てる子ども』が育ちます。こだわりを理解してくれる大人からは『子どもの意欲』が育っていきます。

#### <着替えをしたくない時OK対応>

大人は結果を急ぎがちになる時がありますが、どっしり構えてどうしたら気持ちがそちらへ向くか工夫してみましょう。大人には『困ったこと』も、子どもの気持ちになることが大切です。そしてそれをユーモアで受け止めて返せると、困ったことが笑い話になって子どもが先に進めることがあります。

#### <着替えをしたくない時NG対応>

「着替えなければ食べられない」「着替えなければ食べなくていいよ」といった強制的な言葉は子どもの主体性を育ちにくくしてしまいます。

### 2歳児

1歳児の時に『やらない』も『やりたい』も受け止められ、快適に暮らすための関わりをていねいにされていると、2歳児頃には、やらされるからではなく、自分で確信をもってできることをやるようになります。ただ、自分のことよりも友だちの世話をしたい子がいたり、消極的な子がいたり個人差も大きくなります。自分でできない時は『急がなくても大丈夫』と大人に援助してもらったり、友だちとトラブルが起きた時はどうしたら良いかを一緒に考えてもらったりすることで、自信につながっていきます。

#### <友だちのお世話をしたくて出しゃぼってしまい泣かせてしまったときのOK対応>

大人と一緒に友だちの様子を見守ることで、自分に『～したい』という気持ちがあるように、友だちにもしたい気持ちやしたくない気持ちがあることに自ら気が付きます。また、「できない」という子にはできないことをがんばってやらせようとするよりも、良いところを認め、安心して楽しくその子らしさを発揮させてあげましょう。

#### <友だちのお世話をしたくて出しゃぼってしまい泣かせてしまったときのNG対応>

良い、悪いとジャッジしたり無理に謝らせたりすることで、その子の良さや主体性を否定することになります。形だけ謝らせても、なぜ謝らなければならなかったのかわからないままで、相手の気持ちにも気づけません。